

北興産業株式会社

環境活動レポート

2010年度版

2011年5月10日

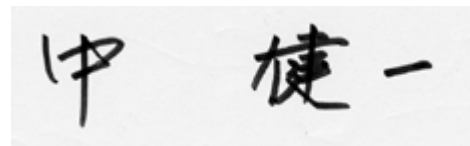
◆環境基本理念◆

当社北興産業株式会社は、お客様に対してIT関連機器の販売やシステムのコンサルティング、設置・保守等のサービスの提供により社会経済活動の効率化・活発化及びサービス分野における活動の向上に寄与する事業者として地域社会に貢献する一企業市民としての責任を自覚し、環境問題に積極的に取り組み、環境の負荷軽減に努め、健全な地球環境の保全に向けて最善を尽くします。

◆環境基本方針◆

1. 環境保全活動を経営の重要課題のひとつとして位置づけ、環境活動評価プログラムに積極的に取り組み、定期的に自主基準を見直し、継続的な運用・維持に努めます。
2. 事業活動にあたっては、省資源、省エネルギーに取り組みます。
当社の主要な環境負荷である、エネルギー使用量の削減・廃棄物排出の削減・CO₂の削減にIT技術を駆使して取り組みます。
3. 従業員が環境保全活動に取り組むよう、環境保全を推進する社内体制の整備と活動を行い、併せて従業員への啓発活動と教育活動を行います。
4. 全ての利害関係者とコミュニケーションを保ち、グローバルな観点から社会貢献に努めます。
5. 環境関連法令を遵守し、環境保全の向上に努めます。

2005年4月1日
北興産業株式会社
代表取締役社長

Handwritten signature in black ink, reading "中 健一" (Nakamura Kenji).

◆事業の概要◆

1. 事業社名及び代表者名

北興産業株式会社

代表取締役社長 中 健一

2. 所在地

富山県富山市今泉西部町 6-1

3. 環境保全関係の最高責任者・管理責任者および連絡先

最高責任者 中 健一 代表取締役社長

管理責任者 片野坂 恵美 営業課

連絡先 電話:076-491-1235 FAX:076-491-3588

4. 事業の内容

電子機器(コンピュータ用ディスプレイ、ブロードバンドルータ、マルチメディアキオスク端末、無線ICタグ等)、電子部品(コイル、トランス、光関連機器等)、電線類の販売並びに保守

5. オフィスの規模

項目	2008 年	2009 年	2010 年
従業員	4 人	4 人	4 人
床面積 m ²	333.02 m ²	333.02 m ²	333.02 m ²

◆環境への負荷低減への目標(中期3ヵ年)◆

- ・ 二酸化炭素排出量を 4パーセント低減(2010年度は2%低減)させる。
- ・ コピー用紙使用量は 5パーセント低減(2010年度は3%低減)させる。
- ・ 水道水使用量は 5パーセント低減(2010年度は3%低減)させる。
- ・ 一般廃棄物は 6パーセント低減(2010年度は4%低減)させる。
- ・ グリーン商品購入比率を 2%アップ(2010年度は横ばい)する。

2009年度実績と目標(中期3ヵ年、2010年度、2011年度)及び2010年度実績

※(比率は2009年度比較)

項目	単位	2009年度 実績	中期3ヵ年 目標	2010年度 目標	2010年度 実績	2011年度 目標
二酸化炭素 排出量	Kg-CO ₂ /年	2,469	2,357 (4%減)	2,420 (2%減)	2,503 (+1%)	2,420 (2%減)
コピー用紙 使用量	Kg/年	10.4	9.9 (5%減)	10.1 (3%減)	13.3 (+28%)	10.1 (3%減)
水道水 使用量	m ³ /年	33	31 (5%減)	32 (3%減)	104 (+215%)	32 (2%減)
一般廃棄物	t/年	0.14	0.13 (6%減)	0.13 (4%減)	0.13 (4%減)	0.13 (5%減)
グリーン商品 購入比率	%	96	98 (2%増)	96 (横ばい)	98 (2%増)	98 (2%増)

◆環境保全プロジェクト 組織体制◆

2010年度の当社の環境保全プロジェクトは以下の組織及び教育体制で行う。

1. 組織体制

※代表取締役社長・環境保全活動最高責任者 中 健一

※環境保全活動管理責任者 片野坂 恵美

※エコプロジェクト

※【ガソリン管理サークル】…営業課管理責任者

※【水道・コピー用紙管理サークル】…総務課管理責任者

※【廃棄物管理サークル】…保守・サービス課管理責任者

※【グリーン商品管理サークル】…総務課管理責任者

2. 実施体制

- ・ 月一回の営業ミーティングで管理者より進捗・問題点を提起し対策を検討する。
- ・ 毎月上旬に行われる全体会議で水道、電気、ガソリン料金を集計し、前年同月比と比較して進捗度を確認する。これにより社内全体に共通認識と方向性が確立される。
- ・ 環境に関する講習会に積極的に参加する。
- ・ グリーン商品の調達の徹底や販売の模索をすべく関連するホームページを定期的に調査する。

◆環境負荷低減のための具体的取組◆

1. CO₂総排出量削減 その1… ガソリン使用量削減

【問題点】得意先が県外に多く、また仕事によっては相当長距離の運転も行うため
車両燃料の環境負荷がとて高い。

【改善項目】

- ①エコカーへの買い替えを行い燃費を向上させる。
- ②往復 150km超の長距離では公共の交通機関を極力利用する。止むを得ない場合は申請書にて車使用の理由と走行距離を報告する。
- ③毎月1回以上の点検を実施し車両を良好な状態に保ち燃費効率を上げる。

2. CO₂総排出量削減 その2… 購入電力量削減

【問題点】・電子機器の待機電力の削減がまだ不十分の可能性ある。
・効率空調に至っていない。

【改善項目】

- ①夏場には川の水で打ち水をし、社屋を冷ます。
- ②電気機器の消費電力を抑制するために
 - ・ パソコン用モニタの輝度を下げスクリーンセーバーを短時間設定する。
 - ・ 省電力モードの設定をする。
 - ・ プリンタ、コピー機は使用時のみ電源を入れる。
 - ・ シュレッダー、ホワイトボードはコンセントを抜いておく。
- ③夏場はクールビズ、冬場はウォームビズでさらに効率空調に努める。
(夏28±1℃、冬19±1℃)

3. 水使用量削減

- ① 雨水を貯め、樹木の散水用に使用する。
- ② 樹木への散水用ホースに調整弁をつけ、散水時以外の放水を避ける。
- ③ 冬季の融雪装置は、昼間は手動に切替え無駄な放水を止める。
- ④ トイレのタンクへ節水器具を設置し、無駄な使用を避ける。

4. 紙使用量削減

- ① 社内資料を電子化(PDF、Web化など)する。
- ② 印刷、コピーの際は縮小・両面印刷で紙の消費を減らす。
- ③ 不要となった紙はメモ用紙、裏紙として利用する。
- ④ 客先へのプレゼン資料をデータで送り、紙への打ち出しを極力避ける。

5. 一般廃棄物削減(ダンボール、梱包材など)

- ① 紙類の分別排出により資源化する。
- ② 地域の古紙回収システムの活用による地域貢献。
※町内会指定日に指定地に搬入すると市が買い取り、代金を町内会に還元。
- ③ 機器梱包材のメーカー回収(機器の入荷時に梱包材を持ち帰ってもらう)
- ④ ソーラー充電器を利用し、充電式の乾電池に切り替える。

6. グリーン購入の推進

- ① 名刺、封筒を再生紙を利用する。
- ② エコマーク、GPNDB掲載、グリーン購入法の商品を購入する。

7. チェック制導入

- ① 毎日決まった時間に社内を見回り、不要の照明・空調・放水等を止める。
- ② 業務前および昼休みの照明は最小限度に留める。
- ③ チェックリストにより業務前、業務中、帰宅前に担当が点検し、リストに記入する。

8. 環境啓蒙活動と社会貢献活動の推進

- ① 環境保全活動への積極的参加を奨励
- ② 「県・市町村統一ノーマイカーウィーク」に参加することで通勤時のガソリンの使用を削減し環境への意識を高める。
- ③ 「エコドライブ燃費コンテスト」に全員が参加し、社内外でのエコドライブに努める。

◆環境活動の取組結果の評価、次年度の取組◆

2010 年度における、前年度実績ならびに目標値と比較した結果は以下の通りです。

項目	前年度比	目標値比
二酸化炭素排出量	+1%	+3%
コピー用紙使用量	+28%	+32%
水使用量	+215%	+225%
一般廃棄物	▲4%	0%
グリーン商品購入比率	+2%	+2%

【結果の総括】

1. 二酸化炭素排出量については前年度比、目標比共に目標に届きませんでした。消費電力についてはチェックシートによるこまめな確認と待機電力の削減を行いました。猛暑・大雪によるエアコンと融雪装置の使用が大幅に増加したことにより 30%の増加が要因です。ガソリンは約 1%の増加は①客先の納品はすべてメーカーから直送に変更、②車による遠距離出張を半減させた といった前年度の効果は継続したものの遠地出張が多かったことが要因として挙げられます。
2. コピー用紙については目標に届きませんでした。縮小印刷および裏紙使用は徹底しましたが、特定の商談で大量の資料を配布せざるを得なかったことが要因です。
3. 水使用量は前年度3倍超の使用量で目標と大きくかけ離れてしまいました。①樹木への水まきは川の水を使用した、②地下水は暖冬と融雪装置のこまめな ON/OFF を繰り返した ことにより使用量自体は前年度とほぼ同じと思われますが、漏水により約2年分に相当する水が地下で流れ出てしまったという特殊要因が挙げられます。
4. 一般廃棄物については目標をクリアしました。もともとほとんど一般廃棄物は出ておりませんがペットボトル並びに紙ごみの再利用を徹底しました。
5. グリーン商品購入については目標を達成しました。購入対象品はすべてエコマークの有無を確認し、少々割高でも積極的に購入している効果が出たのが要因です。

【次年度の取組】

- ① 環境保全活動への積極的参加を奨励する。具体的には“ノーマイカー通勤チャレンジ”、“エコドライブ燃費コンテスト”への参加など。
- ② コピー用紙削減のため、プレゼン資料をデータにて送付することへの客先への啓蒙を行う。

また環境活動計画に対する評価は以下の通りです。

主要な環境活動計画の内容	取組結果の評価
<p>1. ガソリン使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エコカーへの買い替えを行い燃費を向上させる。 ・ 150km 以上の長距離では公共の交通機関を極力利用 ・ 毎月1回以上の車両点検による良好な車両状態の維持と燃費効率の向上 <p>2. 購入電力量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外灯は必要に応じて点灯する。 ・ モニタの輝度を下げスクリーンセーバーを短時間設定にしかつ省電力モードにする。 ・ 1時間以上使用しない機器は電源を切る。 ・ 通常使用しない機器のコンセントを抜く。 ・ 効率空調に努める。(夏場$28\pm 1^{\circ}\text{C}$、冬$19\pm 1^{\circ}\text{C}$) <p>3. 水使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 散水用ホースへの調整弁取り付けによる無駄な放水の回避。 <p>4. 紙使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社内資料の電子化(PDF、Web化等) ・ 両面、裏面再利用コピーまたはメモ用紙化、更にはプリンタの均等割付機能による用紙の実質半減化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ セダン車(6km/l)からエコカー(12km/l)へ買い換えたことにより燃費は向上した。 ・ 機器の設置作業等での遠距離の出張以外は公共機関の活用が徹底してきている。 ・ 車両点検は毎月実施中。燃費効率の向上もふんわりアクセル、停止時の早めのアクセルオフの効果が出たと思われる。 ・ チェックシートにより管理しており守られていた。 ・ 担当部署に確認したところ守られていた。 ・ チェックシートにより管理しており守られていた。 ・ チェックシートにより管理しているがまだコンセントを抜くことを忘れていていることがあるため更なる徹底が必要。 ・ エアコンの温度設定は徹底できた。 ・ チェックシートにより管理しており守られていた。 ・ 社内資料の電子化はほぼ 100%を達成できた。 ・ 各担当者に確認したところ徹底してきた。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 客先でのプレゼン資料を事前にデータ送付して原則紙での打ち出しを禁止。 ・ FAX 機器をプリントアウト前に画面確認する機種に切り替えて勧誘・チラシ類の打ち出しを防止する。 <p>5. 一般廃棄物削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙類の分別排出による資源化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の古紙回収システム活用による地域貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器梱包材のメーカ回収 <ul style="list-style-type: none"> ・カートリッジ(プリンタ、テプラなど)、乾電池、ボタン電池のリサイクル <p>6. グリーン購入の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名刺、封筒の再生紙化ならびに再生紙、エコ製品の購入 <ul style="list-style-type: none"> ・ ECOマーク、GPN掲載マーク、グリーン購入法マークの製品を積極的に購入する。 <p>7. チェック制導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定時刻での社内見回り、不要の照明・空調・放水を止める。 <ul style="list-style-type: none"> ・就業時間前、昼休み時間の照明は最小限度に留める。 <p>8. 環境啓蒙活動と社会貢献活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動への積極的参加の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の客先へ紙持参が多かった。客先への啓蒙が必要。 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントアウト前に確認が徹底された。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務守秘情報記載以外の用紙については再利用が進んでいる。機密書類は専門のリサイクル業者にて破碎・溶解処理が徹底した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各担当者に確認したところ徹底してきた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運送業者に徹底を義務付け、効果が浸透した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 回収センターや回収BOXに返却するようになった。プリンタカートリッジはリサイクル品を購入するようになった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 名刺・封筒の再生紙化に関しては100%を達成しエコ製品の購入に関してもほぼ100%を達成した <ul style="list-style-type: none"> ・ 購入の際、必ず確認して購入するようになった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ チェックシートにより管理しており守られていた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ チェックシートにより管理しており守られていた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 希望する従業員が環境改善活動に参加できるような雰囲気作りに努める。
--	---

◆環境上の緊急事態への準備及び対応◆

東北での大地震による環境の負荷、更には会社の存続に関わる被害が想定されるので社内防災規程の策定と防災活動の実施を行いました。

- ① 社内防災規程の配布と各担当の役割、行動の確認
- ② 喫煙所の全廃
- ③ 各部への消火器配備

現在までに火災は発生しておりません。

◆環境関連法規への違反、訴訟等の有無◆

当社に関係のある可能性の高い以下5点の法律に付きまして検討いたしましたが制約される対象はありません。さらに関係機関からの指摘や、訴訟なども一件もありません。

- ① 環境教育推進法
- ② 家電リサイクル法
- ③ 自動車リサイクル法
- ④ グリーン購入法
- ⑤ 富山県環境基本条例
- ⑥ 道路運送車両法